

予約不要・入場無料

愛知大学東亜同文書院大学記念センター主催 展示会・講演会

東亜同文書院と三重

展示会

2025年10月11日(土)・12日(日) 10:00～17:00
アストプラザ 5階 ギャラリー1・2

講演会

2025年10月12日(日) 13:20～16:30 (受付開始12:50)
アストプラザ 4階 アストホール

講演 1 日本における高等商業学校、高等商業教育から見た書院
大槻 忠史(東洋大学経済学部 准教授、東亜同文書院大学記念センター研究員)

講演 2 通過儀礼としての大旅行
岩田 晋典(愛知大学国際コミュニケーション学部 教授、東亜同文書院大学記念センター員)

講演 3 三重県出身の東亜同文書院卒業生たち
藤田 佳久(愛知大学名誉教授、元東亜同文書院大学記念センター長)

会場

アストプラザ (アスト津 4階・5階)

〒514-0009

三重県津市羽所町700番地(津駅隣接)

近鉄・JR「津駅」下車、東改札口を出て左へ徒歩1分



愛知大学
オープンカレッジ

愛知大学は2026年11月15日に創立80周年を迎えます



愛知大学



東亜同文書院大学記念センター

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町1-1 愛知大学記念館内

TEL: (0532) 47-4139

E-mail: toa@ml.aichi-u.ac.jp



後援: 一般財団法人霞山会、愛知大学同窓会、公益財団法人愛知大学教育研究支援財団

東亜同文書院大学関連資料

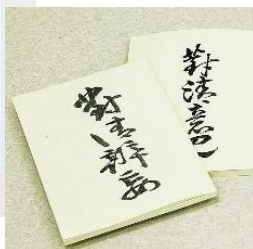


東亜同文書院大学の学籍簿・成績簿
敗戦・閉校にともない、本間らの苦心によりなによりも優先して上海から教職員、学生が接收を免れ持ち帰ったもの。愛知大学教務課保管。この存在は、帰国した書院卒業生には就職・進学に大いに役立った。



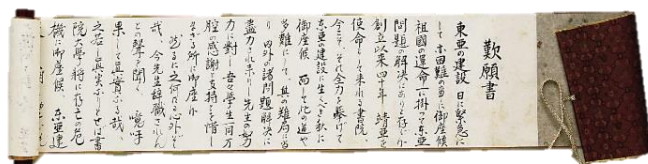
大旅行

東亜同文書院では卒業年度になると3〜5人のグループごとに中国大陸各地へ3〜5か月におよぶ徒歩中心の700コースに及ぶ調査旅行が行われた(現在の大学2、3年生)。
卒業論文となった「調査報告書」と日記体の記録からなる「大旅行誌」は当時の中国を知る貴重な資料となっている。



荒尾精が書き記したもの

『対清意見』(1894年10月、復刻版)、『対清辨妄』(1895年3月、復刻版)。
日清戦争当時の国民世論に反し、清国へ賠償金を要求しないなど、広く対局を見て冷静に判断すべきことを訴えた。1896年(明治29年)台湾にて逝去。まだ十分活躍できる38歳であった。



本間喜一への復帰嘆願書

東亜同文書院を辞職して帰国しようとして上海から北京へ向った本間喜一への、学生26名による復帰嘆願書。1942年5月11日。
本間教授を信頼し、慕う学生たちの気持ちがあらわれている。これより本間教授は帰院し、学長に就任した。

孫文関連資料、近衛篤磨・文磨の書など



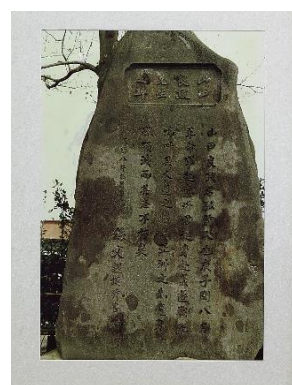
デンバー号船上のロンドンから香港へ着いた孫文と、孫文を出迎えた同志たち
前列左からホーマー・リー、山田純三郎、胡漢民、孫文、陳少白、何天炯。後列左から6人目は宮崎滔天(大柄な姿)。
1911年12月21日 香港。



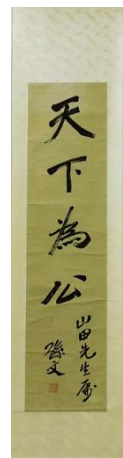
孫文と山田純三郎兄弟
山田純三郎は、兄の良政亡き後、東亜同文書院教員を経て、孫文の側近秘書として活躍した。



山田良政
(1867〜1900年、33歳で没)
山田良政(1868〜1900年)は、1899(明治32)年に東京で孫文に会い、孫文の革命活動を支援するようになった。1900年南京同文書院での教員勤務を経て、孫文が同年に呼びかけた広東省惠州で起こした惠州蜂起に参戦したが、清軍に捕えられ処刑された。



「山田良政先生之碑」孫文書
青森県弘前市新寺町 貞昌寺
1919年9月29日。



「天下為公」孫文書

孫文から山田純三郎に贈ったもの。年代不明。

「天下(てんか)為(い)公(こう)」は中国の古典に登場する言葉で、「天下(てんか)公(こう)をもつてす」、すなわち「政治は公のためにある」という意味である。孫文はこの揮毫が気に入って、同様の書が散見される。



愛知大学記念館常設展示室
「荒尾精、近衛家4代、根津一の書展示室」
よりいづれかを展覧。